向陽高等学校研究推進部通信

QUEST FOR TRUTH

ー真理を求めて世界へ羽ばたけ

第２８号
平成 29 年
１１月１６日発行

鏡子さんのコスタリカ留学レポート（２）

ニカラグアのスーパーで売っている商品のブランド(お菓子類、飲み物、生活用品)はコスタリカにあるものとそんな違いはなかったのですが、コスタリカより値段は少し安く感じました。値段が全然違うと思ったのは水です。少しコスタリカの水の話をします。コスタリカの物価は日本より安いです。でもコスタリカの水はほかの物と比べるとすごく高いです。お値段なんと 1000 コロン！($2 弱！)って言ってもピンとこないと思うのですが、コスタリカで 500 コロン($1 弱)あれば大体の食べ物(パン、クッキー、アイスなど)とバスで自分が住んでいる町周辺をあちこちいけます。だからコスタリカに住んでいるわたしにとっては 1000 コロンは結構大金です。初めは自分が外国人だから高く売りつけられたのかな？(コスタリカの人によるとコスタリカ人は外国人相手だとぼったくるそうです。)と思ったのですが、どこで買っても水(600ミリペットボトル)は一律 1000コロン($2 弱)のようです。けれどニカラグアでは、1Lの水が 20コルドバ($1 弱)でした。安い！後でわかったのですが、ニカラグアの水道水は絶対飲んじゃいけないそうです。そのまま飲むとお腹を壊して大変なことになるとか。コスタリカの水道水はそのまま飲めます。多分、ニカラグアは水を買う人がたくさんいるので値段が安くなるんですね。

あとは、**ニカラグアでの恐怖体験**。道を歩いているとキョーコ、キョーコって、呼ぶ声がするんです。えって思って振り返ったらこっちに向かって手を振っている人たちがいる…怖すぎる…一緒に行った人になんで自分の名前をあの人たちが知ってるの？って怖すぎて聞いたら、理由はわかんないけど、ジョンレノンの奥さんの名前がヨーコだから、東洋人の名前はヨーコが多いって思われているとか？って言われました。ヨーコがキョーコに聞こえたのか…しかし怖い…そんなこんななニカラグアの旅でした。すごいオススメです！日本ではお土産というとお菓子が一般的ですがこっちでは食べ物というより、石でできたアクセサリー、木細工、織物などが一般的でした。私は木細工が好きなので買い物もとても楽しかったです。訪れた場所がとても素敵だったので、コスタリカにもこんな場所があるの？と聞いたら、たくさんコスタリカにもあるよ～と言われました。行きたい！**やっぱり、生活するのと観光するのでは同じ国でも見える面が全く違うんだな**と感じました。

コスタリカの学校にも全体集会？みたいなものがあるのですが、全体集会の最後はいつも伝統衣装をきた女の子たちが**コスタリカの伝統舞踊を披露**します。踊りを踊るクラスの割り当ては毎回変わるようで、こないだの集会は私のクラスの子たちの番でした。私は出なかった(というか踊れない)のですが、一緒にコスタリカの踊りを練習しました。コスタリカの伝統衣装はオフショルダーとフラメンコの衣装のようなたっぷりとしたスカートが特徴で、踊りはそのスカートの端を持って踊ります。見てるとスカートの裾を持って上下してるだけなのですごい簡単そうだなと思っていたのですが、甘かったです。衣装を着て練習したのですが、ステップがすごい細かいのとスカートを綺麗にひるがえす？のが難しいかった。(あれはただの上下運動じゃない…) 話によるとコスタリカの女の子は 12 歳になるとこの踊りを練習するからみんなこの伝統舞踊？を踊れるそうな。(尊敬)で、日本にも踊りはないの？という話になって、日本舞踊は全然わからないからカチャーシーを動画を見ながら一緒に踊ったのですが、それがすごい面白かった。ハイヤイヤササ！のハイヤの部分がコスタリカの人にはマリアに聞こえるらしく、マリア、マリアと叫びながらカチャーシー(もどき)を踊るっていう。余談ですが、コスタリカの人たちはほとんどみんな**カトリック教徒**です。そしてなぜかはわからないけれどイエス・キリストというより聖母マリア色がとても強いです。(キリスト教のことはあまりよくわかりませんが…)聖母マリアを奉る日があるし、自分の家もそうですが、カトリック教徒の家には必ずイエス・キリストを抱く聖母マリアの絵や彫刻などの美術作品があったり、oh my god!と叫ぶかわりに Ave María!と叫ぶ人がたまにいたりします。コスタリカの人にとってはマリア様はとても身近な存在なのではないでしょうか？だからハイヤがマリアに聞こえるのだと思います。私にとってはマリアと叫びながら踊るクラスメイトがすごいおもしろかった。(笑) ここまで読んでくれてありがとうございます！

また来月！それでは。